



英単語の覚え方

『9割わかる』

(●●出版、2012)という本の見本が届いたので、その中にあった単語の勉強法のページを紹介しよう(…って、あまり紹介しすぎると営業妨害になるので、これで興味をもった人は買うか立ち読みして下さい…笑)。「●●～」とタイトルがついているので、●●●●受験に特化した部分もあるが、勉強の根本は同じだから、難関大学を目指す君たちにとっても大いに参考になるに違いない。英語の部分を書いているのは、代ゼミの●●先生。

*

<単語集の使い方>

1 単語集の1ページ分をチェックする。

(例)①fortune 訳が分かれば次の語へ(書く必要はありません)

②weapon 訳が分からなければ訳をみて二度確認

③council 訳が分かれば次の語へ

④majority 訳が分からなければ訳を見て二度確認……

*この要領で1ページ分をチェックします。

2 また同じページの最初に戻る。

一度目のチェックで不明だった語だけを先ほどの要領でチェック。

3 また同じページの最初に戻る。

二度目のチェックで不明だった語だけをチェック。

4 これですべて確認するまで繰り返す。

一度分からなかった語に再び出会うまで

の時間が短いため、簡単に解答できる点がポイントなんです。

*すぐ忘れてしまうと思うかもしれませんが、それでいいんです。ほんの短時間でも自分の頭のなかにそれが記憶されることが重要。記憶という過程を経ずに何時間眺めていても無意味です。だから電車の中で単語が覚えられない人が多いんですね。

5 一日に少なくとも100語以上進める。

6 寝る前にその日覚えた語を確認すると効果的!

7 翌日に前日に覚えた範囲を確認してから先に進むと、さらに効果的!

*

「多くの受験生成功した方法」ということになっているが、参考になるだろうか。ちなみに、単語集(熟語集も)は自分の好みのものを使えばよいとなっていて、『速読英単語』(Z会)はもちろんのこと、『システム英単語』(駿台)、『英単語ターゲット1900』(旺文社)、『英単語2001』(河合)といった名前があがっている。日比谷では、その定番である『速単』そのものが教材になっているのだから、しっかり有効活用しよう。

英語力は、語彙力+文法力+作文力+読解力として分析されている。前に話したが、古典とは「作文力」がない点が大きく違うが、やはり訳読するという点で勉強の基本は同じである。だから、古文単語も同じようにやればよい。でも、1日100語もやったら、1週間で終わってしまうのがイイところ?